

地球惑星科学委員会合 SCOR 分科会小委員会の設置について

小委員会名：GEOTRACES 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員、連携会員、又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	GEOTRACES 計画は SCOR が支援する海洋の大型国際共同研究の一つで、2006年の発足以来順調に進展し、全海洋の微量元素・同位体の分布を高精度クリーン化学分析技術により明らかにしつつある。米・英・仏・日など30数カ国が参加して科学推進委員会(SSC)やデータ管理委員会を構成し、日本からも委員を出している。地球環境変動における海洋の生物地球化学的サイクルの役割解明など、重要な研究課題を幅広く扱う。本小委員会は、国際GEOTRACES 計画の国内対応体として機能し、海洋の微量元素の地球化学的研究において我が国が先導的役割を果たす実施体制の構築・維持を目的とする。
4	審議事項	GEOTRACES 計画に係わる国内外研究の実施、SSC 会議へ代表者派遣、社会貢献等に係る諸案件
5	設置期間	平成29年 月 日～平成32年9月30日
6	備考	

※分科会・小委員会の場合（小委員会の場合は、右端の欄を「親分科会委員」とすること）

（地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 GEOTRACES 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備考	親分科 会委員
蒲生 俊敬	東京大学名誉教授	連携会員	○
張 勁	富山大学大学院理工学研究部教授	連携会員	○
小川 浩史	東京大学大気海洋研究所准教授		
小畑 元	東京大学大気海洋研究所准教授		
熊本 雄一郎	独立行政法人海洋研究開発機構地球環境 観測研究センター主任技術研究員		
佐野 有司	東京大学大気海洋研究所教授		
宗林 由樹	京都大学化学研究所教授		
武田 重信	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 教授		
永井 尚生	日本大学文理学部教授		
西岡 純	北海道大学低温科学研究所准教授		
則末 和宏	新潟大学理学部准教授		
羽角 博康	東京大学大気海洋研究所教授		
馬場 典夫	海上保安庁海洋情報部海洋情報指導官		
山田 正俊	弘前大学被ばく医療総合研究所教授		

地球惑星科学委員会合 SCOR 分科会小委員会の設置について

小委員会名：SIMSEA 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員、連携会員、又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	<p>アジア・太平洋の「縁辺海」は、東シナ海や南シナ海など、豊かな自然の恵みを沿岸諸国に与えてきたが、経済発展の著しい国々に囲まれ、海洋環境の劣化と資源を巡る政治的紛争の荒波に揉まれている。関係諸国にとって「利害を共有する大切な海」を科学的知見のもとで調和的に守る必要性が急速に高まっている。特に東アジアの縁辺海沿岸域には多くのメガシティが存在し、世界の経済、産業活動の主要なエンジンであるが、気候変動による異常気象や極端現象の影響を強く受け、食料、水、災害、健康など、人間安全保障を脅かす深刻な課題を抱えている。国際科学会議 (ICSU) のアジア太平洋地域委員会(RCAP)は、このような「縁辺海」の重要性に鑑み、関係諸国の科学者のネットワークを強化し、持続可能な海洋環境の保全に向けて、フューチャー・アース (Future Earth) を支援する地域プログラムとして「SIMSEA : Sustainable Initiative in Marginal Seas of South and East Asia」を立ち上げ、2014年7月にフィリッピン大学内に事務局を開設した。国際SIMSEA計画の重要性に鑑み、本小委員会は国内対応体として機能することで、アジア太平洋地域における先導的な役割を果たすことをめざす。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. SIMSEA計画に係る国内研究、国際連携研究の推進 2. SIMSEA計画に係る国内研究・国際連携研究の交流促進 3. SIMSEA計画とその成果の広報
5	設置期間	平成29年 月 日～平成32年9月30日
6	備考	第23期に引き続き設置

(地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 SIMSEA 小委員会)

氏名	所属・職名	備考	親分科 会委員
古谷 研	創価大学大学院工学研究科・教授	会員	○
植松 光夫	東京大学大気海洋研究所・教授	連携会員	○
張 勁	富山大学大学院理工学研究部・教授	連携会員	○
山形 俊男	海洋研究開発機構アプリケーションラボ・特 任上席研究員	連携会員	○
あん・まくどな るど	上智大学大学院地球環境学研究科・教授		
磯辺 篤彦	九州大学応用力学研究所・教授		
岩滝 光儀	東京大学アジア生物資源環境研究センタ ー・准教授		
遠藤 愛子	総合地球環境学研究所・准教授		
郭 新宇	愛媛大学沿岸環境科学研究センター教 授・		
川辺みどり	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究 科・教授		
小松 輝久	横浜商科大学商学部・教授		
斎藤 宏明	東京大学大気海洋研究所・教授		
NASSRINE AZIMI	UNITAR Hiroshima・シニア・アドバイザー		
仁藤 雅夫	エコロジーカフェ・理事長		
古川 恵太	笹川平和財団海洋政策研究所・海洋研究調査 部長		
牧野 光琢	水産総合研究センター中央水産研究所・グル ープ長		
宮崎 信之	東京大学・名誉教授		
宮澤 泰正	海洋研究開発機構アプリケーションラボ・所 長代理		
森岡 優志	海洋研究開発機構アプリケーションラ ボ・研究員		
八木 信之	東京大学大学院農学生命科学研究科・教授		
柳 哲雄	国際エメックスセンター・特別研究員		
脇田 和美	東海大学海洋文明学科・准教授		

地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 IIOE-2 小委員会の設置について

SCOR 分科会 IIOE-2 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員 会に○印を付け る。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15 名以内の会員又は連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	50 年前に SCOR が中心となり展開した国際インド洋調査 (IIOE) では、インド洋の海洋科学に関する多くの成果を得た。その後の新たな科学的発見、観測網や数値計算技術の発展を背景として、インド洋の海洋科学の更なる展開を目指し、SCOR, IOC, IOGOOS が主体となって物理、化学、生物、地学、気象等を含む総合的な多分野連携研究として、IIOE-2 が 2015 年 12 月から 5 年間の予定で始まった。国際 IIOE-2 の重要性に鑑み、本小委員会は国内対応体として機能する。インド洋の海洋科学研究において我が国が先導的役割を担う実施体制を構築し、国内での他分野連携研究や国際連携を推進する具体的方策を審議する。
4	審議事項	IIOE-2 計画に係わる国内研究・国際連携研究に係る諸案件
5	設置期間	平成 29 年 月 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	第 24 期から新規に設置

※分科会・小委員会の場合（小委員会の場合は、右端の欄を「親分科会委員」とすること）

（地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 IIOE-2 小委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備考	親分科 会委員
山形 俊男	海洋研究開発機構・特任上席研究員	連携会員	○
植木 巖	海洋研究開発機構・主任技術研究員		
小畑 元	東京大学大気海洋研究所・准教授		
齊藤 宏明	東京大学大気海洋研究所・教授		
武田 重信	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科・ 教授		
東塚 知己	東京大学大学院理学系研究科・准教授		
西岡 純	北海道大学低温科学研究所・准教授		
本多 牧生	海洋研究開発機構・上席研究員		
升本 順夫	東京大学大学院理学系研究科・教授		